

冬の始まりと警報・注意報について



日本の四季では秋に含められることが多い11月ですが、宗谷地方ではすでに冬といっても良いでしょう。

西高東低の冬型の気圧配置の日が多くなり日本海側を中心に断続的に雨や雪の降る「しぐれ」が発生しやすくなります。気温の下がりも一年で最も大きく、前月の平均気温から7~8℃も下がり、最低気温の平均も氷点下になり、日照時間は前月の半分程となってしまいます。また、遅いところでも、いつもの年だと11月上旬には初霜や初氷が観測され、10月末から降りだした雪は11月末には根雪となります。



気象が大きく変化する季節の変わり目は、体調を崩しやすくなりますので注意しましょう。

また、季節が変わると、防災を呼び掛けるために発表する警報・注意報も種類が変わってきます。

冬に発表されることが多い警報や注意報の意味や内容を確認して災害に遭わないようにして下さい。警報や注意報は、災害が起きるような状況になる数時間前に発表します。警戒や注意が必要な時間帯や内容は気象台のホームページ等で確認できますので、発表された時にはさほど悪天ではなくても油断せずに警戒や注意を怠らず、猶予時間(リードタイム)に必要な対応や判断をしておくことが大切です。

◆冬に発表されることが多い警報・注意報

種類	意味	種類と予想される災害
警報	重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかける	大雪警報 : 大雪による重大な災害
		暴風警報 : 暴風による重大な災害
		暴風雪警報 : 雪を伴う暴風による重大な災害(暴風による災害+雪を伴うことによる視程障害)
		波浪警報 : 高い波による重大な災害
注意報	災害がおこるおそれのあるときに注意をよびかける	高潮警報 : 台風や低気圧等による異常な海面の上昇による重大な災害
		大雪注意報 : 大雪による災害
		強風注意報 : 強風による災害
		風雪注意報 : 雪を伴う強風による災害(強風による災害+雪を伴うことによる視程障害)
		波浪注意報 : 高い波による災害
		高潮注意報 : 台風や低気圧等による異常な海面の情報による災害
		なだれ注意報 : 「なだれ」による災害
		着氷注意報 : 著しい着氷による災害(船体などへの被害)
着雪注意報 : 著しい着雪による災害(通信線や送電線などへの被害)		
		融雪注意報 : 融雪による災害(洪水、浸水、土砂災害)
		低温注意報 : 低温による災害(水道管凍結や破裂)

※稚内地方気象台ホームページアドレス [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/)
 ※問い合わせ先 稚内地方気象台防災業務課 (電話: 0162-23-2679)

幌延町民憲章

わたくしたちは、悠久の大河天塩川と広大な平野、豊かな森林に恵まれ、北の大自然と共に生きる幌延の町民です。

北緯45度の厳しい風雪に耐えて、郷土の礎を築いた先人たちの労苦に感謝するとともに、その意思を受け継ぎ、この町に生きることに誇りと喜びをもって、未来につなぐまちをつくるために、この町民憲章を定めます。

- 1 共に支え合い、未来に夢をもち、
住みよい協働のまちをつくります
- 1 働くことに誇りをもち、地域資源を活かした、
活力あるまちをつくります
- 1 生命(いのち)を尊び、人を愛し、
笑顔あふれるまちをつくります
- 1 心身を鍛え、文化の香り高い、
いきがいと希望に満ちたまちをつくります
- 1 自然の恵みに感謝し、美しい自然環境を
守り、人に優しいまちをつくります

九月定例俳句会

雨脚に翻弄されて花すすき
遠景に利尻を置けり芒原
風の意のままに渡りし芒原
芒原や空の青さのあるばかり
お団子と芒を供え空を見る
花芒女^{ひと}うつくしき風の中

田中 徹男
笠原 栄子
佐藤 光朗
小林喜久美
横山 貞雄
藤岡 芙美

幌延ほおずき俳句会